

授業 コード	11203	科目名	心理測定法		担当者		須崎 暁世			
		副題		開講期	後期	単位数	2	DP対応	S1,S2	
【授業概要】										
本講義では、目に見えない心理現象を数値化し、その数量データを統計的に分析することで心理現象に関する知を生み出す方法論について学ぶ。また、そのうちの一つである質問紙法を取り上げ、調査票の作成、調査の実施、t検定によるデータ分析を体験する。										
【到達目標】										
心理学研究における測定法の理論や方法について説明することができる。 質問紙調査を自分で計画し、実施することができる。 t検定の手法を用いてデータ分析ができる。 他学生と積極的にコミュニケーションを取ることができる。										
【授業方法・計画】										
前半は、パワーポイントと配付プリントを用いた講義形式ですすめる。後半は、学生によるプレゼンテーション発表と、グループごとに質問紙調査を行う実習形式ですすめる。時間内に、適宜ディスカッション、小レポートを実施する。										
第1回	イントロダクション:心理測定法とは									
第2回	質問紙の基礎知識1:構成概念、尺度水準									
第3回	質問紙の基礎知識2:信頼性、妥当性									
第4回	質問紙の基礎知識3:記述統計法									
第5回	質問紙の基礎知識4:標準化、2変数の関連									
第6回	文献講読									
第7回	質問紙の選定									
第8回	統計的仮説検定									
第9回	中間発表									
第10回	質問紙の作成									
第11回	t検定									
第12回	データの整理									
第13回	データの分析									
第14回	総括									
【準備学習・復習】										
準備学習:毎回、講義終了時に次回テーマを伝えるので、当該テーマに関して疑問点や不明点がある場合は事前にメモしておき、次回講義で積極的に質問できるよう準備しておいてください。(100分) 復習:講義で学んだ内容をそのままにしておくのではなく、配付プリントを読み直し、しっかりと自分の知識にするよう努めてください。(100分)										
【課題に対するフィードバックの方法】										
・ディスカッション後、補足説明を行います。 ・小レポート実施後、翌回の講義で回答の共有および解説を行います。 ・中間発表では個別に助言を行います。										
【受講上のアドバイスおよび注意事項】										
本講義は、実際に質問紙を作成し、小規模な調査を行い、そのデータを処理しまとめるという実習を含んでいます。その際、グループワークなども実施するため、それらに積極的に参加してください。										
成績評価方法	受講態度(各回の授業内容の理解度)...30% 中間発表(各授業の発展学習)...20% 期末レポート(基本事項の確認及び総合力)...50%									
教科書	教科書は指定せず、適宜プリントを配付します。									
参考書	『質問紙調査の手順』小塩真司・西口利文(ナカニシヤ出版) 『よくわかる心理統計』山田剛史・村井潤一郎(ミネルヴァ書房) 『心理学マニュアル質問紙法』鎌原雅彦・宮下一博・大野木裕明・中澤潤(北大路書房)									
SP2202	授業に関連する実務経験				カウンセラーとしての心理支援・カウンセリング業務					